



# コア通信 Vol.54

2020年  
5月発行

新型コロナウイルスを吹っ飛ばせ！みなさんに音楽の  
パワーと最新号「コア通信」のお届けです。

音楽と映像を皆様にお届けする  
サウンドオフィス・コアのニュースレターです。

## 季節にあうおすすめの1曲

### 5月 「河は呼んでいる」

1958年公開のフランス映画『河は呼んでいる』の主題歌。  
作詞・作曲者のギー・ベアール自身がギターを弾き語り  
で歌い、世界的にヒット。ゆったりしたメロディーと、  
満遍なく5本の指を使うことから、これからピアノを  
始める大人向けの練習曲としての定番の1曲。

### 6月 「私のお父さん」

ジャコモ・プッチーニが作曲した歌劇「ジャンニ・ス  
キッキ」劇中で、ラウレッタによって歌われた名曲。  
ラウレッタが恋人との結婚をかなえるため、  
父親に助けてくれるように頼む Aria で、  
クラシックファン以外にも親しまれている。



## 心に響く一曲

## 「明日があるさ」 坂本九

1963年12月に発売された坂本九のシングル曲。自分に自信が持てず、意中の女性に恋心を打ち  
明けられないにもかかわらず、前向きに日々を過ごす男子学生の思いをコミカルに表現している。  
どんな時もパワフルなウルフルズや、人気お笑い芸人にもカバーされ、日本を元気にしていこうと  
いう応援ソングの定番となった。痛快なテンポで歌う明るい歌詞と、これでもかと繰り返される  
『明日があるさ』というフレーズが、辛い気持ちを吹き飛ばしてくれる。

♪明日があるさ 明日がある 若い僕には夢がある  
いつかきっと いつかきっと わかってくれるだろう

(日本音楽著作権協会 (出) 許諾 第 2003859-001)



## トピックス 【音楽で得られる健康】

家で音楽を  
たのしもう



「音楽療法」という言葉を聞いたことはありますか？  
音楽を聴いたり、歌ったりすることで脳を活性化させるリハビリテーションの方法です。  
その歴史は古く、宗教の誕生まで遡ります。信仰と共に音楽も生まれ、キリスト教の讃美歌も  
人々を鼓舞したり、信仰を深めたりする意味で一種の音楽療法といえるでしょう。  
また、第二次世界大戦時、アメリカの野戦病院で音楽を流したところ、兵士の治癒が早まったと  
いう事例があるそうです。

現在でも、医療の現場で音楽の効果について期待されています。例えば認知症。  
まだ不治の病とされていますが、主な症状である記憶障害や失語、抑うつなどに  
音楽療法の有効性が実証されつつあるといえます。音楽を聴くことだけではなく、  
実際に演奏したり、簡単なダンスや動きと合わせると、脳を刺激し音楽の持つ  
リラックス効果と共に、より脳が活性化されるそうです。高齢者の4人に1人が  
認知症の予備軍であるといわれている昨今、音楽の果たす役割はますます広がりそうです。



## ♪ 編集後記 ♪

毎年楽しみにしているプロ野球観戦、好きなバンドの  
ライブ、友達との食事etc.

すべてが自粛の中、私の生活に潤いを持たせてくれている  
のは音楽だと実感しています。

昔購入したCDを引っ張り出して聴いたり、  
ハードディスクに保存したり、曲目のデータ  
ベースを作成したり。閉塞的な環境の中でも、  
新しい音楽との接し方を見つけました。



♪ コア美

急なご依頼にもまごころこめて対応いたします。  
音楽・映像のことなら、迅速対応の

## サウンドオフィス・コア

〒202-0012 東京都西東京市東町3-13-21  
クレストコート保谷403

TEL:042-421-7150 FAX:042-422-0894  
HPアドレス: <http://www.so-koa.jp>

